



4月に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査（国語・算数・意識調査）と石川県基礎学力調査（理科・社会・英語・意識調査）を、5年生を対象に津幡町学力調査（国語・算数・意識調査）を、4年生を対象に石川県学力調査（国語・算数・意識調査）を実施しました。

その調査結果が分かりましたので、今後の指導の重点とともにお知らせします。本県は、近年、継続して全国上位の調査結果です。そこで、中条小学校の平均正答率を本県や国の平均正答率と比較し、5段階に分類してお伝えします。

## （1）令和5年度 中条小学校4・5・6年生の学力調査結果

6年生	全国学力・学習状況調査		石川県基礎学力調査		
	国語	算数	理科	社会	英語
県との比較	↑	↑	↑	↑	↗
国との比較	↑	↑			
5年生	津幡町学力調査				
	国語	算数			
国との比較	↑	↑			
4年生	石川県基礎学力調査				
	国語	算数			
県との比較	→	↗			

	平均正答率との比較
↑	5%以上上回る
↗	2~5%上回る
→	県平均と同程度
↘	2~5%下回る
↓	5%以上下回る



今年度、本校の4・5・6年生の学力調査の平均正答率は、すべての教科において国・県平均を上回っています。このことについては、児童一人一人が、日々の授業・家庭学習などを通して、学習内容が定着するよう意欲的に粘り強く学習に取り組んできた成果と捉えています。

本校では、さらなる学力向上につなげるため、児童の強みや弱みを分析し、授業の工夫に取り組んでいきます。また、家庭学習は、学校で学習した内容を復習することで習熟・定着を図ることができます。さらに、家庭学習を続けることにより、学ぶ習慣も身に付きます。

今後とも、本校児童のさらなる学力向上のために、ご理解・ご協力をお願いします。

## (2) 令和5年度 児童への意識調査結果（全国学力・学習状況調査より）

### ◎全国平均と比べ、よい結果の項目

※なお、全国平均よりも肯定的な回答が1%以上下回る項目はありませんでした。

#### 【生活習慣・学習習慣】

- ・同じ時刻に寝ている。
- ・家で自分で計画を立てて勉強している。
- ・授業以外の平日の学習時間が1時間以上である。

#### 【授業】

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ・学校でPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている。

#### 【自己有用感等】

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・自分には、よいところがある。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・先生は、よいところを認めてくれている。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

#### 【地域・社会に関わる状況】

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい。
- ・日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。

→基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着が見られます。ご家庭での声かけなど、今後ともご協力をお願いします。

※学校では、家庭での学習方法等について、今後も具体例を挙げながら児童に示していきます。

#### 【ネットルールについて】

文部科学省は、令和4年度に「普段（月曜日から金曜日）、1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴など（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をする時間が短い児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる」と示しています。（この質問は、令和5年度にはありませんでした。）ネットコントロールは、児童にとってとても大切な取組となりますので、ご協力をお願いします。

→自ら考え、学びを深めようとする姿勢があり、学びに向かう力が付いてきています。

※児童に付けたい力を明確にした授業を進めていくとともに、朝学習や放課後の補充学習を計画的に行うことで、基礎基本の確実な定着を図っていきます。

→児童は自分の特徴に気付き、よい所を伸ばし、自己有用感をもちながら、前向きに学校生活を送っています。

※児童の自己有用感をさらに高めるために、児童一人一人の良さが発揮され、お互いを認め合う学級づくり・授業づくりを推進していきます。

→児童は地域・社会とつながろうとする姿勢をもっています。

※児童の生きる力は、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれます。今後も地域との連携を深め、地域と関わる学習活動の充実を図っていきます。

## (3) 今後の指導の重点

○基礎基本の確実な定着により、確かな学力の向上を図る。

- ・児童に付けたい力を明確にした授業を実践する。
- ・朝学習や放課後学習を計画的に行う。

○児童一人一人の良さが発揮され、お互いを認め合う学級づくり・授業づくりを推進する。

- ・授業の中で考えのちがいやよさを認めたり、がんばりを褒めたりする場面を意図的に設定する。
- ・児童が、学級会や児童会活動、学校行事・縦割り活動に主体的に参加できるように目的意識をもたせる指導をする。

